



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年4月30日

上場会社名 内外トランスライン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9384 URL <http://www.ntl-naigai.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 常多 晃
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 三根 英樹 (TEL) 06-6260-4800
 四半期報告書提出予定日 2020年5月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	5,397	△2.3	345	16.2	336	7.9	229	13.4
2019年12月期第1四半期	5,525	△0.4	297	△4.4	311	12.0	202	3.7

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 1百万円(△99.4%) 2019年12月期第1四半期 222百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	23.62	—
2019年12月期第1四半期	20.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	11,805	9,320	73.0
2019年12月期	12,145	9,484	72.1

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 8,614百万円 2019年12月期 8,750百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	17.00	—	17.00	34.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	17.00	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,640	3.0	720	0.2	760	3.0	530	5.6	54.54
通期	24,000	5.1	1,650	8.0	1,680	5.4	1,170	7.2	120.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名)、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年12月期1Q	10,698,000株	2019年12月期	10,698,000株
2020年12月期1Q	980,771株	2019年12月期	980,771株
2020年12月期1Q	9,717,229株	2019年12月期1Q	9,706,629株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年1月1日～2020年3月31日)における世界経済は、世界保健機関(WHO)でパンデミックと認定された新型コロナウイルスの感染拡大が、サプライチェーンの停滞、個人消費の減退などによる経済活動の縮小に大きく影響し、景気の低迷が顕著なものとなりました。

当社グループの業績に大きな影響を及ぼす我が国の貿易に関しては、米中の貿易摩擦において一部合意がなされたことなどで回復に向かうかと思われましたが、新たに発生した新型コロナウイルスの影響で、輸出入金額はともに年初から前年比マイナスが継続(貿易統計)しており、未だ回復の見通しが立っていない状況です。

このような状況の下、当社グループは当連結会計年度が初年度となります第4次中期経営計画(2020年1月～2022年12月)の基本方針に基づき、国際総合フレイトフォワードラーとしてさらなる成長を目指す取組みを強化してまいりました。

当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績につきましては、単体において主力の輸出混載貨物が振るわず、また海外現地法人も日本からの混載貨物減少の影響を受け、連結売上高は前年同四半期と比べ減少しました。

しかしながら国内子会社フライングフィッシュ株式会社は、外出自粛に伴う消費者の食品備蓄ニーズが高まったことなどから欧州からの食品輸入を増やし、売上、利益ともグループ業績に大きく寄与しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は5,397百万円(前年同四半期比2.3%減)、営業利益は345百万円(同16.2%増)、経常利益は336百万円(同7.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は229百万円(同13.4%増)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 日本

日本における国際貨物輸送事業につきましては、混載貨物輸出を主力としております。単体につきましては、昨年からの世界景気の後退による輸出貨物の減少が続く減収となりました。また、国内子会社につきましては、株式会社ユーシーアイエアフレイトジャパンは航空貨物の取扱が回復せず減収となりましたが、フライングフィッシュ株式会社は欧州からの食品輸入取扱を大きく増やし増収増益となりました。

この結果、日本セグメントにおける売上高は、3,714百万円と前年同四半期と比べ49百万円(1.4%)増加し、セグメント利益(営業利益)も206百万円と前年同四半期と比べ1百万円(0.8%)増加しました。

② 海外

当社グループはアジア地域及び米国に連結子会社11社を有しており、これらの海外子会社では日本からの貨物の取扱が売上の大半を占めており、加えて近年では三国間貿易など日本発着以外のサービスも強化、推進しております。当第1四半期連結累計期間におきましては、シンガポール現地法人であるNTL NAIGAI TRANS LINE(S) PTE LTD.及び2019年3月に子会社化しました内外釜山物流センター株式会社が売上に寄与しましたが、その他の現地法人では総じて前年同期売上を下回り、日本発貨物の減少分をカバーするまでには至りませんでした。

一方、海外各社とも売上原価、販管費の削減に取り組んだことにより、営業利益においては前年同期実績より増加いたしました。

この結果、海外セグメントにおける売上高は、1,682百万円と前年同四半期と比べ178百万円(9.6%)減少しましたが、セグメント利益(営業利益)は147百万円と前年同四半期と比べ11百万円(8.5%)増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は11,805百万円(前連結会計年度末比339百万円減少)となりました。減少の主な理由は、現金及び預金が99百万円、建物及び構築物が135百万円、有形固定資産その他が56百万円減少したこと等によるものであります。

負債は2,485百万円(同175百万円減少)となりました。減少の主な理由は買掛金が115百万円、未払法人税等が92百万円減少したこと等によるものであります。

また、純資産は9,320百万円(同163百万円減少)となりました。減少の主な理由は、利益剰余金が64百万円増加しましたが、その他有価証券評価差額金が20百万円、為替換算調整勘定が179百万円、非支配株主持分が27百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、今後、新型コロナウイルス感染の拡大による当社グループ業績への影響が必至と思われませんが、現時点においてその影響額を合理的に算定するのは非常に困難であります。従って、2020年2月10日に公表しました第2四半期及び通期の連結業績予想を据え置いております。

今後、業績予想の算定が可能となり、修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,319,440	6,219,536
売掛金	1,547,217	1,507,968
その他	634,376	637,792
貸倒引当金	△3,845	△3,355
流動資産合計	8,497,188	8,361,941
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,072,042	1,936,876
その他(純額)	774,420	717,737
有形固定資産合計	2,846,462	2,654,613
無形固定資産		
のれん	84,204	74,851
その他	67,247	72,686
無形固定資産合計	151,452	147,537
投資その他の資産		
その他	662,591	655,796
貸倒引当金	△12,449	△14,004
投資その他の資産合計	650,141	641,791
固定資産合計	3,648,056	3,443,943
資産合計	12,145,244	11,805,884

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,158,212	1,042,578
未払法人税等	232,838	139,959
賞与引当金	21,493	131,309
その他	573,670	523,219
流動負債合計	1,986,215	1,837,066
固定負債		
退職給付に係る負債	350,385	350,273
その他	323,860	297,688
固定負債合計	674,245	647,962
負債合計	2,660,460	2,485,029
純資産の部		
株主資本		
資本金	243,937	243,937
資本剰余金	228,540	228,540
利益剰余金	9,298,545	9,362,859
自己株式	△1,000,025	△1,000,025
株主資本合計	8,770,997	8,835,311
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,659	△15,202
為替換算調整勘定	△23,596	△203,468
退職給付に係る調整累計額	△2,322	△2,307
その他の包括利益累計額合計	△20,259	△220,978
非支配株主持分	734,046	706,522
純資産合計	9,484,783	9,320,855
負債純資産合計	12,145,244	11,805,884

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	5,525,960	5,397,469
売上原価	4,035,187	3,895,908
売上総利益	1,490,773	1,501,560
販売費及び一般管理費	1,193,265	1,155,935
営業利益	297,507	345,624
営業外収益		
受取利息	11,411	9,675
不動産賃貸料	6,365	8,130
その他	3,369	4,589
営業外収益合計	21,146	22,394
営業外費用		
支払利息	—	1,027
不動産賃貸費用	1,212	—
為替差損	2,664	28,946
支払手数料	2,267	1,333
その他	809	512
営業外費用合計	6,954	31,820
経常利益	311,700	336,198
税金等調整前四半期純利益	311,700	336,198
法人税、住民税及び事業税	116,592	112,775
法人税等調整額	△18,199	△24,235
法人税等合計	98,393	88,540
四半期純利益	213,307	247,658
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,949	18,151
親会社株主に帰属する四半期純利益	202,357	229,506

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	213,307	247,658
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,002	△20,861
為替換算調整勘定	6,742	△225,547
退職給付に係る調整額	0	15
その他の包括利益合計	8,745	△246,393
四半期包括利益	222,052	1,264
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	213,354	28,788
非支配株主に係る四半期包括利益	8,697	△27,524

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,665,241	1,860,718	5,525,960	—	5,525,960
セグメント間の内部売上高 又は振替高	79,739	181,343	261,083	△261,083	—
計	3,744,981	2,042,062	5,787,044	△261,083	5,525,960
セグメント利益	205,003	135,742	340,745	△43,237	297,507

(注) 1. セグメント利益の調整額△43,237千円には、のれん償却額△6,315千円、子会社株式の取得関連費用△36,909千円及びその他調整額△12千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「海外」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間に内外釜山物流センターの株式を取得しております。当該事象によるのれんの増加額は当第1四半期連結累計期間において29,088千円であります。なお、当該のれんの金額は、暫定的な会計処理の確定に伴う見直し反映後の金額であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,714,807	1,682,662	5,397,469	—	5,397,469
セグメント間の内部売上高 又は振替高	89,054	199,640	288,694	△288,694	—
計	3,803,861	1,882,302	5,686,164	△288,694	5,397,469
セグメント利益	206,729	147,220	353,950	△8,325	345,624

(注) 1. セグメント利益の調整額△8,325千円には、のれん償却額△7,672千円、及びその他調整額△653千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。